

第88期

中間報告書

2021年4月1日～2021年9月30日



黒斑山からの冠雪の浅間山

株主の皆さまへ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、罹患された方々、ご家族の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

ここに当社第88期第2四半期累計期間(2021年4月1日から2021年9月30日まで)のご報告にあたり一言ご挨拶申し上げます。当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の変異株の拡大により、8月には過去最高の新規感染者数を記録するなど予断を許さない状況となりました。その後、ワクチン接種が進むとともに新規感染者は減少し、9月30日には全ての地域で緊急事態宣言が解除されたことから、今後は社会・経済活動が緩やかに回復に向かうと期待されております。

当社グループ関連のエネルギー業界につきましては、新型コロナウイルス感染症終息後の世界経済の回復期待、OPECプラスによる協調減産維持等から原油価格が急激に上昇を続けており、LPガス・石油類の仕入価格に大きく影響を与える状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、お客様や従業員とその家族の安全・健康を第一に引き続き衛生管理等の感染予防対策を徹底し、ライフラインでありますLPガス、石油類、小売電気などのエネルギーの安定供給に努めてまいりました。

営業活動におきましては、非接触型でのお客様との接点強化策として6月に実施した「紙面展示会、バーチャル展示会」を皮切りに、リフォーム事業や住宅関連設備機器の販売において、低炭素化への取り組みにつながる省エネ機器、太陽光発電システム・蓄電池やコロナ禍からの新生活様式に適応した商品を積極的に提案し、成果を上げることができました。

LPガス事業におきましては、前年新型コロナウイルス感染症の影響を受けた業務用等の需要が徐々に回復傾向にあり、前年比では販売量が増加しております。引き続き顧客件数の拡大を最重要施策として新規顧客の獲得に取り組んでまいります。

石油事業におきましても、ご家庭の灯油ホームタンク洗浄事業を積極的に展開するなど、設備改善の提案を実施し、お客様へのサービス向上を図ってまいりました。

また、電力小売事業におきましては、複数の金融機関とのビジネスマッチング契約により、法人のお客様をご紹介いただき契約につなげるなど顧客件数を着実に伸ばしてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、新型コロナウイルス感染症の影響を引き続き受けているものの、LPガス及び石油類の仕入価格の上昇に伴う販売価格の上昇等により、売上高は11,407百万円(前年同四半期比4.1%増)となりました。

利益面におきましては、収益認識に関する会計基準適用の影響に加え、LPガス及び石油類の仕入価格の急激な上昇や青果事業においての前年のえのき茸需要急増の反動、また、その他事業(建設事業)において前年のような大型工事の完工物件がなかったこと等により、営業利益は2百万円(前年同四半期比99.4%減)、経常利益は129百万円(前年同四半期比72.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益85百万円(前年同四半期比75.4%減)となりました。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、時節柄ご自愛のほど心よりお祈り申し上げます。



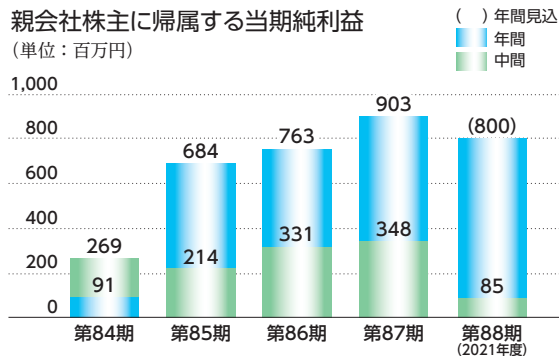
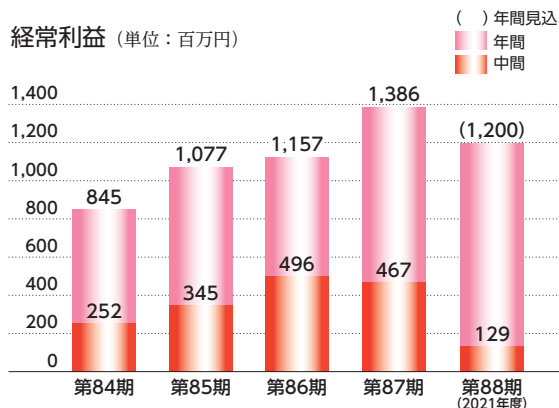
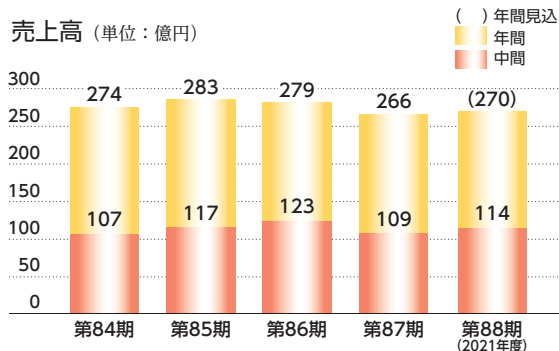
代表取締役社長

塩原 規 男

2021年12月

営業の概況(連結)

■財務ハイライト



セグメントごとの概況は次のとおりであります。

エネルギー関連事業におきましては、原油価格の上昇に伴うLPガスや石油類の仕入価格高騰は当社グループの売上と利益に大きく影響を及ぼしました。主力商品でありますLPガス販売は業務用等の需要が回復しつつありますが、タクシー用のオートガス等の需要減が依然として続いております。石油類販売の主力商品でありますガソリンスタンドでの燃料油の販売数量は需要が回復傾向にあり微増となりましたが、灯油は価格の高騰から買い控えが続き、販売数量は減少となりました。電力小売事業では、複数の金融機関とのビジネスマッチング契約など新規顧客の獲得を積極的に行い、顧客件数を伸ばしてまいりました。リフォーム・住宅関連設備機器の販売では、6月にカタログ販売形式の紙面展示会、Web上のバーチャル展示会を開催し、新しい生活様式への商品を積極的に提案し、売上は前期比増となりました。これらの結果、エネルギー関連事業の売上高は9,961百万円(前年同期比8.9%増)となりましたが、セグメント利益は仕入価格の急激な上昇をカバーできず65百万円(前年同期比77.9%減)となりました。

製氷事業におきましては、夏場の天候不順の影響がありましたが、売上高はほぼ前年並みとなりました。青果事業におきましては、株式会社一実屋のリンゴや桃の売上が好調であったものの、株式会社えのきボーヤのえのき茸の単価下落や出荷量の減少等により売上高、セグメント利益ともに減少となりました。不動産事業におきましては、土地販売等の件数が増加したことから、売上高、セグメント利益とも増加、その他事業(運送業・建設関係)におきましては、建設事業において前年のような大型工事の完工物件がなかったことから、売上高、セグメント利益ともに減少となりました。

財務指標

四半期連結貸借対照表(要旨)

当第2四半期連結会計期間(2021年9月30日現在)
前連結会計年度(2021年3月31日現在)

	(単位:百万円)		(単位:百万円)	
	当第2四半期 連結会計期間	前連結会計年度	当第2四半期 連結会計期間	前連結会計年度
資産の部				
流動資産	11,497	12,141	5,519	6,005
現金及び預金	6,540	7,039	1,774	1,758
受取手形、売掛金	—	3,255	2,785	2,775
受取手形、売掛金及び契約資産	2,951	—	82	86
商品及び製品	1,443	1,297	120	333
仕掛品	45	32	170	314
原材料及び貯蔵品	391	317	584	737
その他	126	199	1,861	1,873
貸倒引当金	△ 1	△ 1	長期借入金	528
			繰延税金負債	236
固定資産	14,158	13,899	役員退職慰労引当金	140
有形固定資産	8,647	8,535	退職給付に係る負債	636
建物及び構築物	2,810	2,645	資産除去債務	160
機械装置及び運搬具	847	869	その他	158
工具、器具及び備品	524	494	負債合計	7,380
土地	4,443	4,438		7,878
建設仮勘定	22	88		
無形固定資産	276	254	純資産の部	
投資その他の資産	5,234	5,109	株主資本	17,190
投資有価証券	4,799	4,714	資本金	1,512
繰延税金資産	144	104	資本剰余金	1,248
差入保証金	147	147	利益剰余金	14,442
その他	172	171	自己株式	△ 12
貸倒引当金	△ 30	△ 29	その他の包括利益累計額	1,084
			その他有価証券評価差額金	1,081
			退職給付に係る調整累計額	2
			非支配株主持分	—
			純資産合計	18,275
資産合計	25,655	26,041	負債純資産合計	25,655

財務指標

四半期連結損益計算書(要旨) (第2四半期連結累計期間)

当第2四半期連結累計期間(2021年4月1日から2021年9月30日まで)
前第2四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年9月30日まで)

(単位:百万円)

	当第2四半期連結累計期間	前第2四半期連結累計期間
売上高	11,407	10,959
売上原価	8,492	7,645
売上総利益	2,915	3,314
販売費及び一般管理費	2,913	2,934
営業利益	2	379
営業外収益	141	133
営業外費用	14	45
経常利益	129	467
特別利益	—	72
特別損失	—	—
税金等調整前四半期純利益	129	540
法人税等	43	191
四半期純利益	85	348
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	85	348

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

当第2四半期連結累計期間(2021年4月1日から2021年9月30日まで)
前第2四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年9月30日まで)

(単位:百万円)

	当第2四半期連結累計期間	前第2四半期連結累計期間
営業活動によるキャッシュ・フロー	280	838
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 419	△ 3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 302	△ 274
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,423	4,526

トピックス

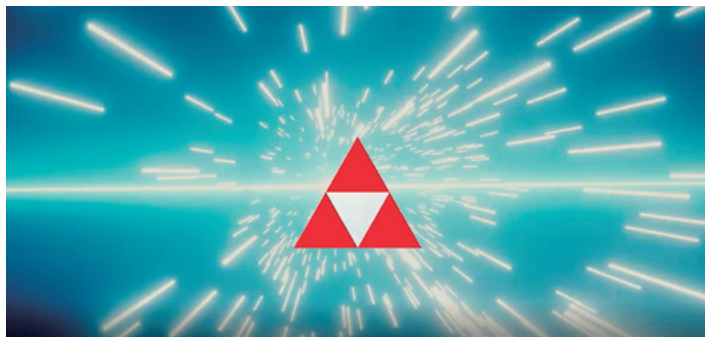
◆紙面&バーチャル展示会 杉浦太陽コラボ企画開催

新型コロナウイルスの影響により、昨年から開催している「紙面&バーチャル展示会」を今年も開催しました。今年はタレントの杉浦太陽さんに当社がおススメの最新ガスコンロを使った簡単お手軽レシピを作っていただき、バーチャル展示会でその料理動画をアップしていくタイアップ企画とし、多くのお客様から反響をいただきました。なお、お料理には当社グループの株式会社えのきボーヤのえのき茸を使うなど、非常にアピール度の高い企画となりました。



◆新CM放映開始

このたび、新たにテレビCMを作成しました。新CMはタイムワープするような光の放射線が飛ぶ中で当社の社章が出現し、その中を経由するドローンが撮影した当社の事業内容をイメージさせる動画から、お客様の暮らしをサポートすることをテンポよくアピールした内容となっています。



「トータルサポート」編

株式の状況 (2021年9月30日現在)

■株式の状況

① 発行可能株式総数	40,000,000株
② 発行済株式の総数	12,300,000株
③ 1単元の株式の数	100株
④ 株主数	839名

■上位株主

株主名	持株数(百株)	出資比率(%)
株式会社ミツウロコグループホールディングス	16,781	13.7
リンナイ株式会社	7,120	5.8
株式会社八十二銀行	5,750	4.7
ENEOSホールディングス株式会社	5,000	4.1
株式会社長野銀行	4,580	3.7
曽根原 充 夫	4,541	3.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (管理信託口79212)	3,520	2.9
須 澤 孝 雄	3,460	2.8
長野県信用農業協同組合連合会	2,250	1.8
田 中 郁 子	2,151	1.8

(注) 出資比率は、自己株式195百株を控除して計算しております。

■分布状況

所有者別の株式分布状況

所有者	持株数(百株)	出資比率(%)
個人・その他	65,422	53.2
金融機関	20,653	16.8
その他の国内法人	36,011	29.3
自己株式	195	0.2
その他	719	0.5

会社の概要 (2021年9月30日現在)

- 社名 / サンリン株式会社
- 設立 / 昭和9年12月19日
- 資本金 / 15億1,280万円
- 従業員数 / 545名 (グループ人員)
- 事業の内容 / 石油製品、LPガス、一般高圧ガス、
煉炭・豆炭の製造販売、電力販売
住宅設備機器の販売、リフォーム事業、
太陽光発電等の環境事業、損害保険事業

■役員状況 (2021年9月30日現在)

代表取締役社長	塩原 規 男
専務取締役	百瀬 久 志
常務取締役	小原 正 彦
常務取締役	高野 朗
社外取締役	田島 晃 平
取締役	氣賀澤 隆
取締役	熊井 一 浩
取締役	山田 高 照
社外取締役	高田 真由美
常勤監査役	矢口 秀 明
常勤監査役	小澤 信 秀
社外監査役	山 根 伸 右
社外監査役	井 口 秀 昭

■子会社等 (2021年9月30日現在)

- 三鱗運送株式会社 (一般貨物自動車運送事業、貨物運送取扱事業)
- ウロコ興業株式会社 (管工事業)
- サンエネック株式会社 (LPガス容器等賃貸業、不動産業)
- サンリンI&F株式会社 (水製造卸、冷蔵倉庫業)
- 株式会社一実屋 (青果卸売業)
- サンネックスパワー駒ヶ根株式会社 (太陽光発電事業)
- 株式会社えのきボーヤ (えのき茸の生産・販売)
- 有限会社松野燃料 (LPガス・燃料類販売)
- 新潟サンリン株式会社 (燃料等卸小売業) ※持分法適用関連会社

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	毎年3月31日（ただし、中間配当を行う場合は9月30日）
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711（通話料無料） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所 公告の方法	東京証券取引所JASDAQ市場 電子公告により行う 公告掲載URL http://www.sanrinko.co.jp/ （ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。）

【お 知 ら せ】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

営業拠点



UD FONT
by MORISAWA

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

この報告書は、環境に優しい植物油インキを
使用して印刷しています。